

第3回教育委員会協議会

〔中部地域①：香南市、香美市、南国市〕

次第

1 開催日時 平成29年11月30日（木） 18:00～20:00

2 場 所 南国市保健福祉センター 多目的ホール

3 内 容
17:50～ 受 付

18:00～ 開 会

議 題

(1) 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の策定について

(2) 中部地域①（香南市、香美市、南国市）の県立高等学校の現状、
今後の状況について

(3) 地域からの意見聴取
ア 香南市

イ 香美市

ウ 南国市

(4) 会場からの意見聴取

閉 会

県立高等学校再編振興計画 後期実施計画(H31～H35年度)策定スケジュール

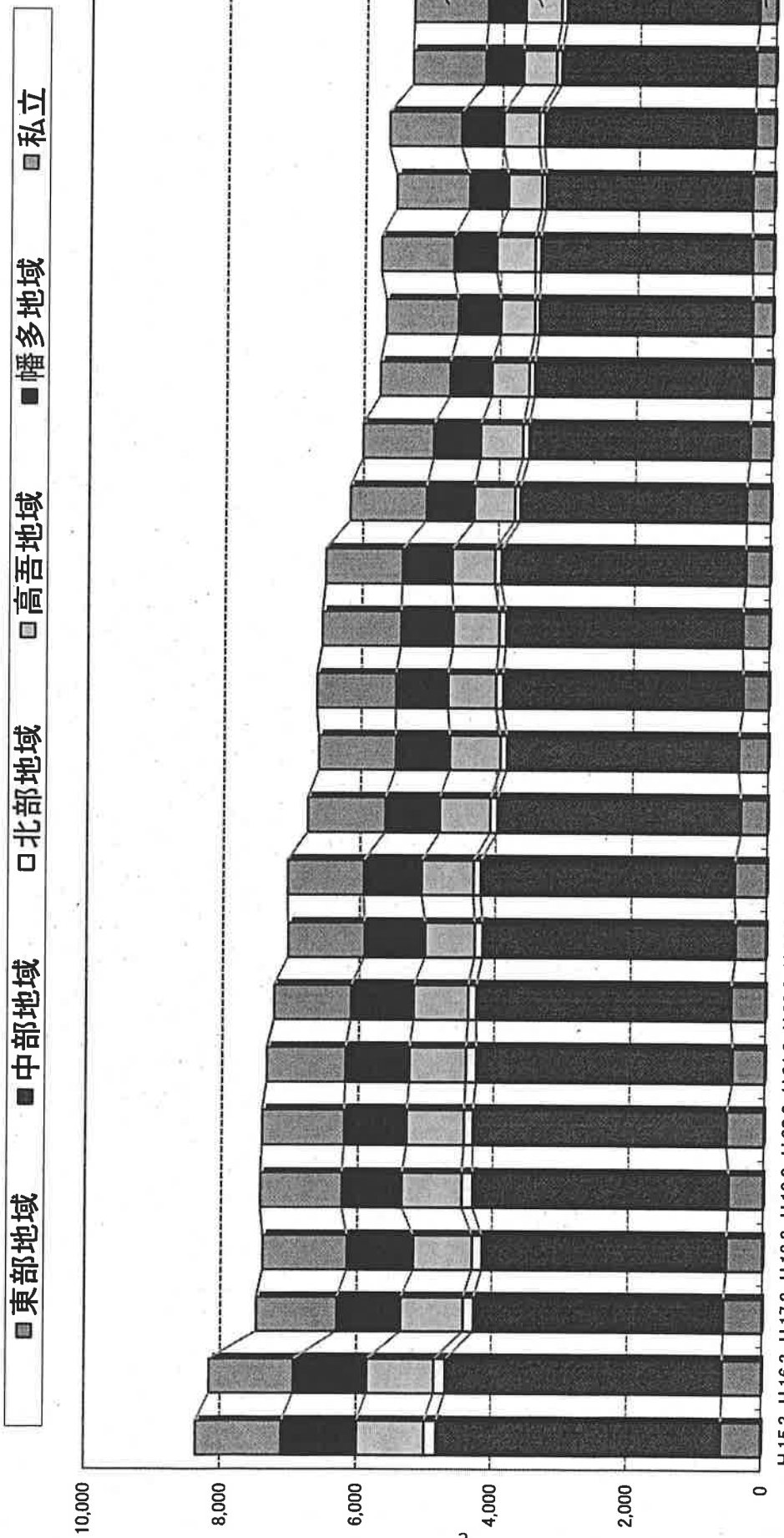
平成29年度					平成30年度																																							
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
臨時教育委員会	9月議会報告		12月議会			入試出願・検査	定例教育委員会			6月議会報告		定例教育委員会	9月議会報告		12月議会報告		定例教育委員会	入試出願・検査	2月議会																									
策定スケジュールの協議・決定					「中間とりまとめ(たたき台)」決定・公表					教育委員会協議会 (公開) 目的:「最終とりまとめ(パブコメ案)」策定に当たり、大きな影響が予想される学校について関係者等から意見を聴く。 会議:○月1、2回程度開催 ○1回目は、県立中学校・高等学校の現状等に関する会議を開催 ○2回目以降は、地域別に各域内の学校についての再編振興に関する意見を聴く会議を開催 ○地域別会議後は、意見聴取の内容を踏まえながら「中間とりまとめ(案)」を作成する会議を開催 ※参考(地域) 東部、中部、北部、高吾、幡多					教育委員会協議会 (公開) 目的:「最終とりまとめ(パブコメ案)」策定に当たり、大きな影響が予想される学校について関係者等から意見を聴く。 会議:○月1、2回程度開催(状況に応じて追加開催あり) ○大きな影響が予想される学校の関係者等にも参加していただいで会議を開催					「最終とりまとめ(パブコメ案)」決定					パブリックコメント(パブコメ)実施 必要に応じてパブコメを踏まえた修正等					「後期実施計画」策定					冊子配布					周知のため「地区別説明会」開催				
入試・議会・定例会																				実施計画策定のスケジュールと内容																								

津波浸水域の県立高等学校一覧

資料2

市町村名	学校名	10mメッシュ 最大クラス(L2)の津波 堤防なしの場合 (H24.12.26南海地震対策配布データ)		校舎 構造・階数	避難場所等					
		浸水深 (m)	30cm津波 到達時間(分)		避難場所	標高 (m)	広さ (㎡)	避難距離 (m)	避難時間 (分)	
1	安芸市	安芸	5m	57分	非木造 4階建	北舎屋上	23.5	840	—	—
2	安芸市	安芸桜ヶ丘	5m	95分	非木造 4階建	安芸市総合運動場(補助グラウンド)	20	13000	200	10
3	香南市	城山	4m	39分	非木造 4階建	南舎屋上(地域住民は北舎屋上)	26	650	—	—
4	高知市	高知東	2m	190分	非木造 4階建	校舎3・4階	9	1290	—	—
5	高知市	高知南	3m	36分	非木造 5階建	校舎4階及び屋上	12.5	2320	—	—
6	高知市	高知工業	3m	47分	非木造 4階建	校舎3・4階及び屋上	14	3110	—	—
7	高知市	高知追手前	2m	134分	非木造 4階建	高知城・新館4階等状況に応じて ※右データは高知城	44.4	2500	1000	15
8	高知市	高知丸の内	1m	191分	非木造 4階建	北舎2・3・4階	6.5	945	—	—
9	高知市	高知小津	1m	243分	非木造 6階建	校舎の4階以上の教室と6階の食堂(本館東)	15.1	1810	—	—
10	土佐市	高知海洋	8m	25分	非木造 5階建	近くの高台	40	400	500	8
11	須崎市	須崎	7m	28分	非木造 4階建	学校の裏山にある避難道を上って、山頂にある須崎市斎場	83	—	300	15
12	宿毛市	宿毛	7m	35分	非木造 4階建	つつじ公園	70	1000	1000	15
13	土佐清水市	清水	12m	11分	非木造 3階建	学校裏山または近くの高台 ※右データは高台	43	50	125	10

地域別中学校卒業生数の推移 H15.3~H38.3 ただし、H30.3以降は推計



学	H.15.3	H.16.3	H.17.3	H.18.3	H.19.3	H.20.3	H.21.3	H.22.3	H.23.3	H.24.3	H.25.3	H.26.3	H.27.3	H.28.3	H.29.3	H.30.3	H.31.3	H.32.3	H.33.3	H.34.3	H.35.3	H.36.3	H.37.3	H.38.3
東部地域	594	581	570	535	512	550	474	504	447	468	390	426	372	385	348	352	309	289	294	305	313	287	280	237
中部地域	4,208	4,096	3,698	3,614	3,782	3,748	3,787	3,766	3,736	3,750	3,587	3,423	3,539	3,489	3,604	3,334	3,257	3,204	3,137	3,114	3,036	3,094	2,862	2,837
北部地域	192	170	153	146	162	133	149	116	118	106	104	94	103	100	94	79	92	83	67	86	66	83	79	79
高吾地域	1,007	1,003	931	867	889	848	836	805	726	760	741	740	701	670	623	595	619	541	497	563	489	517	481	523
幡多地域	1,117	1,091	949	994	891	931	953	930	903	865	817	806	777	778	739	702	686	609	620	620	565	615	550	548
私立	1,252	1,227	1,180	1,239	1,200	1,204	1,158	1,135	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,055	1,067	1,083
合	8,350	8,168	7,481	7,395	7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,526	6,558	6,585	6,543	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307
							▲ 155	▲ 123	▲ 196	▲ 238	▲ 589	▲ 769	▲ 1,013	▲ 1,096	▲ 1,018	▲ 1,238	▲ 1,120	▲ 1,462	▲ 1,474					
							▲ 155	▲ 32	▲ 73	▲ 42	▲ 351	▲ 180	▲ 244	▲ 83	▲ 78	▲ 220	▲ 118	▲ 342	▲ 12					

H25.3卒業生比
前年度比

平成27年度以降の入学数又は在籍者数の実態（学校別一覧）

資料4

白抜き：最低規模を下回っている ■：定員に対して40人以上下回っている □：定員の半分以上

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
室戸	総合	80	63	50	42	
安芸	普通	120 (60)	83	83	95	●
安芸桜ヶ丘	工業(環建)	20	9	6	9	
	工業(環工)	40	11	3	4	●
	商業(情ビ)	40	21	14	14	
城山	普通	80	61	40	46	●
山田	普通	160	110	121	128	●
嶺北	普通	80	26	22	29	●
高知農業	農業(農総)	40	40	41	40	
	農業(畜総)	40	32	28	36	
	農業(森総)	40	22	24	21	●
	農業(環土)	40	27	31	35	
	農業(食ビ)	40	35	37	33	
高知東工業	工業(機械)	40	31	40	35	
	工業(機械シ)	40	28	30	24	●
	工業(電子)	40	26	24	27	
	工業(電機)	40	24	30	29	
岡豊	普通	240	240	240	239	
	普通(芸術コース)	40	23	25	24	●
高知東	普通(体育コース)	40	33	40	40	
	看護(看護)	30	24	24	30	●
高知南	普通	200 (100)	169	194	200	
	国際(国際)	40 (20)	28	35	36	□
高知工業	工業(機械)	40	40	40	40	
	工業(電気)	40	35	34	35	
	工業(情技)	40	37	34	38	
	工業(工化)	40	35	40	40	●
	工業(土木)	40	40	40	40	
	工業(建築)	40	40	40	40	
高知追手前	工業(総テ)	40	36	37	39	
	普通	280	265	279	252	●
吾北	普通	40	23	23	19	●
	普通	140	141	141	140	
高知丸の内	音楽(音楽)	10	9	7	10	●
	普通	30	20	21	13	
高知小津	普通	240	226	241	240	●
	理数(理数)	40	24	29	40	
高知西	普通	240	236	240	240	
	外国語(英語)	40	40	41	40	□
伊野商業	商業(キャリア)	160	145	139	147	●
春野	総合	160	136	148	137	●
高岡	普通	80	42	37	40	●
	水産(海洋)	80	51	58	39	●
須崎工業	船舶職員養成課程	[10]	[4]	[4]	[2]	
	工業(機械系)	20	31	40	12	
	工業(造船)	20	25	17	13	
	工業(電情系)	20	22	19	9	
	工業(シ工系)	20	18	15	2	
須崎	工業(住環)	20	18	15	18	
	普通	120	64	97	92	□
佐川	普通	80	52	47	35	●
窪川	普通	80	34	41	26	●
檮原	普通	80	56	32	43	●
四万十	普通	40	13	13	9	●
	普通(自環コース)	40	7	7	4	●
大方	普通	80	38	32	32	●

(注1) 安芸、高知南、中村の()内の数字は、併設中学からの最大進学者の生徒数。
 (注2) 高知海洋高校船舶職員養成課程の[]は内数
 (注3) 嶺北、檮原、四万十の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
幡多農業	農業(園シス)	40	24	38	40	
	農業(アグリ)	40	27	28	30	●
	農業(グリーン)	40	24	22	17	
	農業(コーディネート)	40	22	34	31	
中村	普通	200 (70)	184	161	200	●
	西土佐 普通	40	22	11	9	●
宿毛工業	工業(機械)	20	17	14	17	
	工業(自車)	20	20	18	18	
	工業(建設)	20	19	20	19	●
	工業(土木)	20	20	20	17	
	工業(電気)	40	19	19	16	
宿毛	工業(情技)	40	27	40	33	
	総合	120	106	89	82	●
清水	普通	80	51	47	47	●
県立計		5090	4004	4032	4007	

(注4) 清水の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
中芸	普通(昼)	40	23	26	11	●
高知北	普通(昼)	80	80	74	80	●
合計		120 [0]	103	100	91	

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
中芸	普通(夜)	40 [4]	8	17	18	●
高知北	普通(夜)	40 [4]	134	124	101	●
	看護(夜)(術看)(技能連携)	40			4	
合計		120 [8]	142	141	123	

(注1) 成人の[]は内数

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
室戸	普通	40 [4]	11	11	17	●
山田	普通	40 [4]	38	32	29	●
高知東工業	工業(機械)	40 [4]	33	40	34	●
高知工業	工業(機械)	40 [20]				
	工業(電気)	40 [20]	87	81	70	●
	工業(土木)	40 [20]				
高岡	工業(建築)	40 [20]				
高岡	普通	40 [8]	27	42	44	●
須崎	普通	40 [4]	25	23	17	●
佐川	普通	40 [8]	25	21	22	●
大方	普通	40 [4]	28	26	21	●
宿毛	普通	40 [4]	38	32	25	●
清水	普通	40 [4]	19	21	19	●
県立計		520 [124]	331	329	298	

(注1) 成人の[]は内数

学校名	学科(科)名	最低規模(該当に●)			備考
		H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
高知北		427	412	438	
大方		78	78	64	
合計		505	490	502	

1 前期実施計画からの継続検討事項

- 中芸高校、安芸高校、安芸桜ヶ丘高校の3校の将来的な在り方を検討する必要がある。
 - ・安芸高校：南海トラフ地震への対応のため、適地への移転を検討する。
- 中村高校西土佐分校：2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合は、その翌年からの募集停止を検討する。
- 宿毛高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性を含め、将来の学校の在り方を検討していく。
- 清水高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、高台への移転を検討する。

2 「県立高等学校再編振興計画」で定めた適正規模に関する検討事項

(1) 本校

〔記載内容〕 過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校。不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟な対応をするための支援体制を整えた学校については、特例として1学年1学級(20人)以上を最低規模として維持する。

〔現状課題〕 **中芸高校**：本年度下回る (H29年度：11人、H28年度：26人、H27年度：23人)
四万十高校：本年度下回る (H29年度：13人、H28年度：20人、H27年度：20人)

(2) 分校

〔記載内容〕 2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する。※「入学者が20人に満たない状況が3年間で2度ある」から基準を緩和

〔現状課題〕 **吾北分校**：本年度下回る (平成29年度入学生19人 (H28:23人、H27:23人))
西土佐分校：2年連続下回る (平成29年度入学生9人、平成28年度入学生11人)

(3) 併設型中高一貫教育校

〔記載内容〕 東部、中央部、西部の3地域での配置を維持する。

〔現状課題〕 **県立安芸中学校**の志願者が減少し、生徒確保が課題となっている。
 ※平成29年度：定員60人、志願者36人、入学者35人

(4) 総合学科の学校

〔記載内容〕 生徒数の減少等により複数の系列を置くことが困難な学校については、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。

〔現状課題〕 **室戸高校**の入学者が減少し、現在の4系列の維持が難しくなっている。
 ※平成29年度：定員80人、入学者42人
 ※現在の系列：文理総合系列、IT・アート系列、生活福祉系列、機械技術系列

(5) 定時制(夜間部)

〔記載内容〕 最低規模については、様々な学びを保障するため、「1学年1学級10人程度以上」から「学校全体の生徒数を20人以上」に緩和し学校の維持に努める。

〔現状課題〕 **室戸高校**：3年連続下回る (H29年度：17人、H28年度：11人、H27年度：11人)
中芸高校：3年連続下回る (H29年度：18人、H28年度：17人、H27年度：8人)
須崎高校：本年度下回る (H29年度：17人)
清水高校：2年下回る (H29年度：19人、H28年度：21人、H27年度：19)

前期実施計画で明記した学校の在り方に係る現在の状況 (H29. 10 末現在)

	学校名	前期実施計画で明記した学校の在り方	平成 29 年 10 月末現在の状況
1	城山高校	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度より、全日制学年制から、より柔軟な対応ができる全日制単位制に改編し、様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援等を通じて教育活動の充実を図るとともに、国公立大学進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 不登校経験や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として 1 学年 1 学級 (20 人以上) を最低規模として維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援を行うことを目的に、基礎学力の定着を図る教育課程の実現や進級等に関して柔軟な対応ができるよう平成 29 年度から全日制単位制に改編し、<u>2 学期制の導入や学び直しの学校設定科目</u>として「ベーシック数学」や「ベーシック英語」を導入している。 生徒一人一人の支援シートを作成し、<u>生徒支援委員会を毎月開催</u>するなど、生徒理解・支援に努めている。 今年度は、国公立大学を目指している生徒もおり、4 年制大学進学への意識も高まっている。また、就職については、1 回目の試験で第一志望の就職先に内定をもらう生徒が大半である。 入学者数 (定員 80 人) は、H27 年度 61 人、H28 年度 41 人、H29 年度 46 人である。
2	山田高校	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域性を生かし、高知工科大学や企業、地域と連携した取組等を通じて、国公立大学等への進学に向けた学力向上に取り組み、教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。 商業科では地域と連携した取組により、地域産業の担い手を育成するとともに、資格取得等の商業科としてのメリットを生かした進学面の充実を努める。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。 	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知工科大学とは、H26 年度から月 1 回の連携会議を開催し、<u>高大連携を強化</u>するとともに、高知工科大学生による学習支援や部活動支援、進路相談、防災活動、理科クラブ活動等、様々な面で大学生との交流・支援を進めており、関わっている大学生は 60 人を超えている。 「<u>香美学園都市構想</u>」を具現化するために、香美市教育委員会、高知工科大学、山田高校の 3 者で月 1 回の香美教育コラボ会議を開催し、香美市こども会議等、協働した取組を展開している。 文部科学省の「<u>学校地域協働本部事業</u>」を受託し、「地方創生に有意な人材の育成」を目的に、「総合的な学習の時間」において<u>地域課題探究学習</u>に取り組んでいる。 学び直し時間を設定し、基礎学力の定着に努めている。 進学指導としては、東京大学金曜特別講座の受講やスタディ・サプリの活用等を実施し、<u>国公立大学への現役進学者が H26 年度 12 人、H27 年度 12 人、H28 年度 16 人と増加</u>している。 就職については、<u>5 年連続で就職内定率 100%</u>である。 入学者数 (定員 200 人) は、H27 年度 139 人、H28 年度 147 人、H29 年度 158 人と増加傾向にある。 商業科では、「商品開発」やプレゼン力、資格取得を推進しており、H26 年度からの 3 年間で、<u>第 8 回全国商い甲子園最優秀賞及び高知工科大学長賞 (2 回受賞)、高知県地場産業大賞次世代賞 (2 回受賞)</u> 等を受賞している。特に、H27 年度に地元企業と協働開発した「<u>高校 3 年生の山田まん</u>」は、高い評価を得て販売良好である。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定通併修等により 3 年間で卒業できる制度 (<u>三修制</u>) を導入している。 進路講演会や進学・就職補習などを実施。就職については、<u>就職希望者の内定率は、8 年連続 100%</u>である。 在籍生徒数は、H27 年度 38 人、H28 年度 32 人、H29 年度 29 人である。
3	高知農業高校	<ul style="list-style-type: none"> 本県の農業教育を担う中心的な学校として、農業のもつ教育力を最大限に活用し、動植物の飼育栽培を通して、命の尊厳や豊かな心、感謝の心を育み、倫理観や規範意識などを重視した人材の育成を行うなどの教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。 国公立大学進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の取組を推進し、この 3 年間で入学者数は 49 人増 (H26 年度 156 人⇒H29 年度 205 人)、在籍生徒数は 93 人増 (H26 年度 498 人⇒H29 年度 591 人) となる。 「<u>地域連携・地域貢献</u>」、「<u>幼保から大学までの交流・連携</u>」 「<u>専門力の還元 (プランター草花管理や高校生レストランなど)</u>」 「<u>専門機関やフィールドを活用した現場体験実習の充実</u>」 「<u>学校開放 (高農ふれあい市、アンテナショップ)</u>」の開催 「<u>専門力の向上 (茶摘み、みそ加工、白菜販売、シャモ鍋提供)</u>」を促す取組 進路については、<u>進学 6～7 割、就職 3～4 割</u>であり、国公立大学への進学者は、H26 年度 6 人、H27 年度 3 人、H28 年度 0 人である。 「<u>学校で学んだことを生かせる進路選択</u>」をスローガンに取り組んでおり、平成 28 年度卒業生の進学・就職先では、<u>約 65% の生徒がそうした進路に決定</u>している。
4	高知東工業高校	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と社会性の育成を図り、将来の就職につなげる。また、きめ細かい指導ができるように教育課程を編成し、工業系大学等への進学にも対応できるように教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。 地域の企業や高知工科大学等の高等教育機関と連携した取組や先端技術への対応により専門的な知識・技能を身に付けた、ものづくりに強い人材を育成する。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶことや学び直しなど、多様な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。 	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着に向けて、学習支援員の活用や専門教科でのフォローアップ、加力補習等を実施している。 <u>ものづくりを通して、社会性の育成</u>を図っている。 平成 26 年度から「<u>理工学科</u>」を募集停止とし、4 科 (機械科、機械生産システム科、電子科、電子機械科) に理工学科で培った大学進学等に関するノウハウを活かす<u>学科改編</u>を行った。具体的には、大学受験にも対応する選択科目の設置や習熟度別学習、少人数による徹底した学力向上対策などを行い、<u>大学進学希望者に対する支援体制を充実</u>させている。(国公立大学進学者は、H26 年度 1 人、H27 年度 4 人、H28 年度 2 人) 入学者数 (定員 160 人) は、H27 年度 109 人、H28 年度 124 人、H29 年度 115 人である。 企業の技術者による講演や技術指導をとおして、資格取得や技術の習得に努めると同時に、<u>5 日間のデュアルシステムや企業見学</u>を通して、企業連携も推進している。 企業との共同研究を行い、<u>全国鉄道模型コンテスト</u>に出展している。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定通併修等により 3 年間で卒業できる制度 (<u>三修制</u>) を導入している。 ものづくりを通じてキャリア教育を推進している。 在籍生徒数は、H27 年度 33 人、H28 年度 40 人、H29 年度 34 人である。
5	岡豊高校	<ul style="list-style-type: none"> 様々な進路希望に対応できる多様なコースを教育課程に置き、きめ細かい学習指導を徹底し、生徒に確かな学力を定着させ、国公立大学進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援するなど、教育活動の充実を努める。 学習活動に加えて、部活動では練習環境の充実を図り、生徒の心身の鍛錬に励み、全国大会で活躍できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>5 つの系列と 2 つのコース</u>により、生徒の実態や進路希望に即した学びを提供している。 文部科学省の「<u>遠隔教育</u>」の指定を受け、大規模校のメリットを生かした遠隔地の高等学校への授業配信に取り組んでいる。 文部科学省の「<u>外国語教育強化地域拠点事業</u>」の指定を受け、小中高の円滑な接続の在り方について、研究に取り組んでいる。 国公立大学への進学者は、H26 年度 21 人、H27 年度 23 人、H28 年度 17 人である。 進路の内訳は、大学進学 4 割強、専修・各種学校進学 4 割強、就職 1 割である。 平成 29 年度から「<u>中部地域の運動部活動強化拠点校</u>」として指定を受けている。なお、<u>運動部、文化部ともに複数の部が毎年、全国大会に出場し、活躍</u>している。 部活動も含め学校教育全体で礼節を重んじる教育を実践している。

再編振興計画での地域（現・旧市町村）別中学校卒業生数の推移（H30.3～H38.3は推計）

地域	高校	現市町村名	H.19.3	H.20.3	H.21.3	H.22.3	H.23.3	H.24.3	H.25.3	H.26.3	H.27.3	H.28.3	H.29.3	増減	H.30.3	H.31.3	H.32.3	H.33.3	H.34.3	H.35.3	H.36.3	H.37.3	H.38.3	
中部地域	城山	夜須町	37	32	23	30	37	35	37	23	21	18	26	▲5	21	20	17	21	18	24	14	22	13	
		香我美町	55	41	56	38	48	58	58	63	55	70	61	61	2	63	50	60	37	39	44	27	35	41
		赤岡・吉川	27	25	31	40	32	28	27	17	17	20	40	40	▲21	19	22	15	14	8	11	19	24	7
	山田	野市町	147	176	178	162	179	168	186	140	189	167	181	181	▲22	159	164	157	154	167	143	162	134	159
		計	266	274	288	270	296	289	308	243	292	275	308	308	▲46	262	256	249	226	232	222	222	215	220
		土佐山田町	160	138	147	157	138	180	123	132	149	143	140	140	▲19	121	129	133	128	139	146	143	138	127
	高知	香美市	40	36	34	41	38	33	35	25	28	32	39	39	▲2	37	24	27	29	24	23	29	38	18
		物部村	14	12	15	18	10	22	7	11	11	6	13	13	▲7	6	10	8	8	9	7	8	8	6
		計	214	186	196	216	186	235	165	168	188	181	192	192	▲28	164	163	168	165	172	176	180	184	151
	伊野商	春野町	120	101	116	118	115	98	115	117	96	120	120	120	▲15	105	103	106	102	85	91	72	78	73
		鏡村	18	14	14	11	6	12	15	7	8	6	11	11	▲5	6	9	5	6	8	15	11	6	8
		土佐山村	13	9	7	10	7	8	8	2	10	7	13	13	5	18	20	14	29	29	32	53	58	60
伊野南	高知市	2,201	2,195	2,235	2,166	2,217	2,125	2,085	2,007	2,089	2,040	2,093	2,093	▲115	1,978	1,951	1,907	1,838	1,871	1,775	1,818	1,671	1,663	
	伊野町	228	239	189	203	176	198	146	141	133	144	150	150	▲29	121	124	116	123	108	124	104	83	102	
	南国市	370	376	366	393	371	426	371	370	379	384	365	365	▲23	342	353	332	369	323	315	340	316	289	
高知・南	計	2,950	2,934	2,927	2,901	2,892	2,867	2,740	2,644	2,715	2,701	2,752	2,752	▲182	2,570	2,560	2,480	2,467	2,424	2,352	2,398	2,212	2,195	
	土佐市	195	197	222	227	203	205	217	210	216	200	219	219	▲20	199	144	171	159	164	163	171	132	149	
	国立	157	157	154	152	159	154	157	158	138	132	133	133	6	139	134	136	120	122	123	123	119	122	
北部地域	中	中部地域計	3,782	3,748	3,787	3,766	3,736	3,750	3,587	3,423	3,539	3,489	3,604	3,604	▲270	3,334	3,257	3,204	3,137	3,114	3,036	3,094	2,862	2,837
		H29との増減	178	144	183	162	132	146	▲17	▲181	▲65	▲115	0	0	▲270	▲347	▲400	▲467	▲490	▲568	▲510	▲742	▲767	
		本山町	36	26	33	22	30	23	25	20	17	25	27	27	▲13	14	21	20	18	26	11	15	15	18
	嶺北	土佐町	39	36	40	34	31	31	34	28	32	32	26	26	4	30	27	24	23	26	29	36	29	29
		大川村	6	6	2	6	1	1	4	5	5	7	5	5	▲2	3	6	4	6	4	5	2	4	4
		いの町	6	6	13	5	11	7	5	11	8	7	9	9	▲3	6	7	9	3	4	7	7	7	4
	吾北	大豊町	42	33	33	28	29	29	24	17	24	14	14	14	0	14	12	14	7	15	10	14	18	16
		計	129	107	121	95	102	91	92	81	86	85	81	81	▲14	67	73	71	57	75	62	74	73	71
		いの町	33	26	28	21	16	15	12	13	17	15	13	13	▲1	12	19	12	10	11	4	9	6	8
	全体	北部地域計	162	133	149	116	118	106	104	94	103	100	94	94	▲15	79	92	83	67	86	66	83	79	79
		H29との増減	68	39	55	22	24	12	10	0	9	6	0	0	▲15	▲2	▲11	▲27	▲8	▲28	▲11	▲11	▲15	▲15
		公立計	6,079	6,053	6,045	5,969	5,771	5,795	5,482	5,331	5,354	5,290	5,275	5,275	▲352	4,923	4,829	4,590	4,495	4,566	4,346	4,473	4,133	4,102
県内計	国立計	6,236	6,210	6,199	6,121	5,930	5,949	5,639	5,489	5,492	5,422	5,408	5,408	▲346	5,062	4,963	4,726	4,615	4,688	4,469	4,596	4,252	4,224	
	私立計	1,200	1,204	1,158	1,136	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	1,135	▲5	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,065	1,067	1,083	
	計	7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,626	6,658	6,585	6,543	6,543	▲351	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307	

地域からの意見聴取

(1) 香南市

(2) 香美市

(3) 南国市

会場からの意見聴取